

## 【情報公開文書】

2020年12月09日作成

Ver3.0

研究課題名	胃癌 ESD 後追加切除症例の治療成績の検討
所属（診療科等）	長崎大学病院 腫瘍外科
研究責任者	荒井 淳一（助教）
研究機関	この研究は長崎大学病院 腫瘍外科のみで実施します。
研究期間	2021年1月19日～2025年12月31日
研究目的と意義	胃癌においては、内視鏡技術の進歩により、早期胃癌の一部対象症例に対し ESD(内視鏡的粘膜下層剥離術：Endoscopic Submucosal Dissection)が広く行われています。そして、その病理結果を評価し、癌の遺残や周囲リンパ節転移が疑われるような場合は追加切除適応と判断し、定型手術を追加で行います。しかし、追加切除適応症例の内、そのまま経過観察をした場合と追加切除を行った場合で、治療経過が変わらない症例群がいることも報告されています。当院での胃癌 ESD 後追加切除症例の経過を明らかにして、胃癌 ESD 後追加切除の適応をよりよいものにします。
研究内容	<p>●対象となる患者さん 2010年1月1日～2020年8月31日の間に長崎大学病院で胃癌に対し ESD 後追加切除を受けられた患者さんが対象となります。</p> <p>●利用する情報。 診断名、年齢、性別、併存疾患、既往歴、検査結果（血液検査、画像検査、病理結果）、手術関連情報、化学療法関連情報、進行度など 詳しい情報をお知りになりたい方は下記の問い合わせ先へご連絡ください</p> <p>●研究の概要・方法 対象となっている症例の情報を診療録(カルテ)から収集し、手術療法の治療成績とそれに関わる因子を明らかにします。</p>
問い合わせ先	<p>【研究担当者】 氏名：荒井 淳一（医師） 長崎大学病院 腫瘍外科 住所：長崎市坂本1丁目7番1号 電話：095（819）7304 FAX 095（819）7306</p> <p>【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）</p>